

2020 年 12 月 17 日

各位

P S ジャパン株式会社

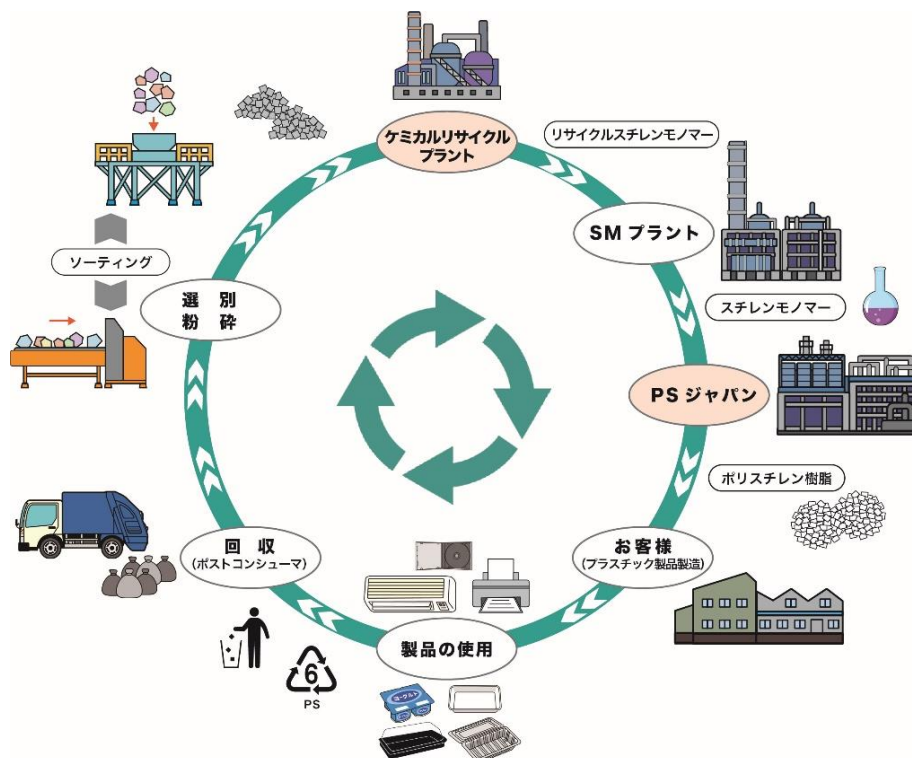
ケミカルリサイクル実証化設備建設の検討開始につきまして

～ 持続可能なスチレン資源循環をめざして ～

P S ジャパン株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役社長：室園 康博）はこの度、東芝プラントシステム株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：原園 浩一）と、同社のケミカルリサイクル実証化設備の建設検討を開始することで合意いたしました。同実証化設備を弊社水島工場（所在地：岡山県倉敷市潮通 3-13）の敷地内に建設するため、基本設計に入る契約を締結、建設検討を開始しました。なお、同設備は 2022 年 3 月完工を目標としております。

このケミカルリサイクル実証化設備とは、使用済みポリスチレン製品を熱分解により、原料であるスチレンモノマーに戻すモノマー還元設備です。すでに、取引先様より実証化への協力の申し入れもあり、同設備の完成後、直ちに実証運転を経て、実装化を目指していきます。

<ご参考：ポリスチレンのケミカルリサイクル模式図>



ポリスチレンは無味無臭で食品容器に適しており、燃やしても有害ガスが発生しない安全なプラスチックです。また、発泡性に優れることから容器・製品の軽量化に役立っており、断熱材の用途では軽量で高断熱な特性を活かして、環境負荷の低減にも貢献しています。さらに、ポリスチレンは少ないエネルギーで分解ができることから、ケミカルリサイクルし易いプラスチックです。

弊社はポリスチレン樹脂の製造販売会社として、お客様の視点を心がけ、安心と価値を提供していくとともに、将来世代への責任を果たすため、真剣かつ積極的にプラスチックの環境問題に対応していきます。

今後、使用済みポリスチレン製品をスチレンモノマーに戻す設備を導入していくことで、スチレン資源循環を実現させ、持続可能なものづくりに取り組んでいきます。

<ご参考>

P S ジャパン株式会社の概要

本社 : 東京都文京区小石川 1 - 4 - 1
社長 : 室園 康博
株主 : 旭化成(株) 62.07%、出光興産(株) 37.93%
資本金 : 50 億円
売上高 : 約 490 億円

東芝プラントシステム株式会社の概要

本社 : 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央 4 - 3 6 - 5
社長 : 原園 浩一
株主 : (株)東芝 100%
資本金 : 約 119 億円

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

P S ジャパン株式会社 企画管理部 TEL 03-5689-6543